

第54期

中央労働講座開催



5月18日～20日にかけて、第54期中央労働講座が開催された。労働講座開講にあたり、松永書記長より各講座資料の確認と実施要綱の説明を受け、今回の講師役である中央本部常任と講座内容の紹介をした。主催者を代表して鈴木委員長は挨拶の中で「これからの労働運動は長い歴史から見ても今よりも大変なことになる。今回の労働講座を生かすためにも積極的かつ有意義なものとしてほしい」と、労働講座の意味と参加者の有意義な討論をお願いした。

各講座は鈴木誠一委員長、鈴木龍一副委員長、畠山昌悦副委員長、橋崎正伸副委員長により大変充実した内容でおこなわれ、講義のあとのグループ討論では時間が足りないくらいであった。

最後に鈴木誠一委員長より総評として、「職場でのコミュニケーションが必要、声掛けができる指導者になれ、今回の54期に期待する、それが出来れば全港湾はさらに強くなる」との言葉がかけられ、受講者に終了証が渡され第54期中央労働講座を終了した。



鈴木委員長



鈴木副委員長



畠山副委員長



橋崎副委員長



日本海 寺林



名古屋 赤木



四国 吉松



関西 河本



関東 和田



東北 冨樫



日本海 小林



日本海 竹安



九州 野元



全港湾 第54期中央労働講座

実施要綱		8月20日
7:00	開会	開会
8:00	「全国港湾の盛り立ち」	講師：橋崎正博（副執行委員長）
9:00	講師：鈴木誠一（中央執行委員長）	グループ討論
10:00	「港湾運送事業法と港湾労働者の盛り立ちとその意義」	講師：鈴木誠一（副執行委員長）
11:00	講師：島田昌茂（副執行委員長）	閉会式
12:00	昼食	グループ討論
13:00	閉会式、主催者あいさつ	
13:30	「人材不足での組織対策」	
14:30	「人材不足での組織対策」	
15:00	講師：鈴木誠一（副執行委員長）	グループ討論
15:30	グループ討論	
16:00	グループ討論	
16:30	グループ討論	
17:00	閉会	夕食
18:00	夕食	

グループ4

働き方や環境
林の若出ると人員が減る
企業負担が増える。
ラインケアさびしい
産業団地はさびしい
女性 X

ラインケア 会社？
相談できる 理解
産業団地 →
会社負担



班長・級長を終えて

第54期の代表を決めるということで各班代表者4名でジャンケンをして勝ってやらなくていいと喜んでいると、隣から悪意のある顔で「男気ジャンケンだから」と勝った人がやると言ってきた中央本部の方がいた。

その方は乾杯のあいさつの前に支部の名前を間違えるというボケをするようにと促してきた。自分的にはたいして面白くないのでやりたくなかったが、その方は人を殺すような目で見てました。（パ〇ハラだと思った。）「スべったら助けたる」とも言ってた。結果スベり助けてくれなかった。他の分会も顔をそむけたら1人、橋崎副委員長が「スべった！」とツッコんでくれた。神に見えた。この人について行こうと思った。助けてくれなかった本部の方は「簡単に人を信用するな！」と言い、組合は団結がすべてだとも言っていた。わけがわからなかった。

その後、中締めで漫才みたいな事をしておいしい所だけその方は取っていき、自分にスベりキャラを定着させ喜んでいました。他 etc・・・

今、この文章を自宅で書いている中、そういう経験も中央労働講座に参加したからでき、他分会や本部の方と飲んだ酒の話や経験をなつかしんでいます。すべては男気ジャンケンをしてくださった中央本部松永〇樹書記長のおかげです。又今回、受講した54期の仲間、組合をしている限り必ず会うと思うので会った時は又54期中央講座の話しましょう！

神☆支部の藪田寛也



グループ3

委員の人の力を借りていかな
昔の人の威厳があった
3.3 答申があったのをみた
アメリカ型の産別目標は？